

## 時間学公開学術シンポジウム 2018 を開催

2018 年 6 月 9 日、千葉大学・西千葉キャンパスにて 2018 年度時間学公開学術シンポジウム「心的時間の諸特性とその基礎」を開催しました(共催:千葉大学、日本時間学会)。心理学・認知科学を専門とする 3 人の講師をお招きし、コーディネーターの一川誠先生(千葉大学文学部)の司会のもと、心的時間ないし時間知覚についての最新の知見についてお話いただきました。最初に登壇された山本健太郎先生(九州大学大学院)の講演では、知覚対象の動きの印象、対象に含められた意味論的・記号論的作用、対象が埋めこまれた文脈性などが、知覚者の経過時間の主観的評価に大きな影響を及ぼしていることが分かりやすく呈示されました。続く四本裕子先生(東京大学)の講演では、時間感覚と直接に結びついた皮質部位の不在にもかかわらず、どういう神経領域・機構によって人間の時間知覚は可能となっているのかについて、様々な実験群の紹介を通して精緻にお話いただき、また林隆介先生(産業技術総合研究所)は、多様な知覚情報ごとの応答時間の差異がどう統合されているのかについての諸実験成果から、「視覚的現在」の構制メカニズムを平易にご説明いただきました。講演後には、指定討論者である寺尾将彦・本所所員の問題提起を受けつつ、時間知覚生成機構にまつわる議論がはらむ段階論的契機ないし水準的差異を中心とした活発な議論が一般聴講者を含めて繰り広げられ、会は盛況のうちに閉じました。



山本 健太郎 先生



四本 裕子 先生



林 隆介 先生



指定討論の様子



# 時間学国際シンポジウム 2018「中世日本の時間意識」を開催

2018年8月1日から8月3日、山口大学吉田キャンパスにてチューリッヒ大学と山口大学時間学研究所の共同開催(共催:日本時間学会)で、時間学国際シンポジウム 2018「中世日本の時間意識」が開催されました。このシンポジウムは時間学研究所客員教授のシュタイネック・ラジ先生(チューリッヒ大学)が行っている欧州研究会議(ERC)アドバンスト・グランド・プロジェクト「中世日本の時間意識(TIME J)」に連動しており、多様な分野の研究者25名が国内外から参加しました。日本側のコーディネーターには、森野正弘先生(山口大学)、森下徹先生(山口大学)、細井浩志先生(活水女子大学)にご担当、ご尽力いただきました。

中世日本の社会で時間がどのように表象・知覚・経験されていたのかについての多角的な検討を目指したこのシンポジウムは、「暦」「兵学」「朝廷と武家」「村落」「宗教」「身体」「市場」という7つのテーマから構成され、テーマごとに報告と指定討論者によるコメント、ならびに全体的討議を行う、という形式で進められました。第1日目には、エムデ・フ란ツ先生(山口大学)、小山恵美先生(京都工芸繊維大学)をコメンテーターとして、「暦」「兵学」「朝廷と武家」をテーマとして3名の研究者による報告、第2日目には、辻正二先生(保健医療経営大学)、板東洋介先生(皇學館大学)をコメンテーターとして「村落」「宗教」をテーマとした報告が7名の研究者によって行われました。最終日には、アンドレーワ・アンナ先生(ハイデルベルグ大学)、コッホ・アンゲリカ先生(ゲント大学)をコメンテーターとして「身体」「市場」をテーマとした報告を5名の研究者が行った後、討議そして、佐藤弘夫先生(東北大学)、板東先生、辻先生による3日間の総括が行われました。最後に、シュタイネック・ラジ先生ならびに藤澤健太所長(時間学研究所)の閉会の辞をもって、3日間にわたるシンポジウムは盛況のうちに幕を閉じました。



シンポジウムの様子



シンポジウム後に行った交歓会での集合写真

## 時間学ミニ辞典

### 【夜業】

近世日本社会の農村生活者の間では、農間の「余業」として夜間に商品生産(筵、綿糸、種油、縄、煮売り商などの各種サービス業など)を行う傾向が全国規模でひろがっていた。貨幣経済への依存度のたかまり(現金収入と債務返済の必要のたかまり)を直接の背景とした農村での夜業の滲透ぶりは、都市世界のそれを遥かにしのいでいた。夜業時の照明資源(薪、松割など)の豊富さ・廉価さをはじめ、都市住人より圧倒的に農民のほうが夜業に適した生活環境にあったためだ。この点で、〈産業化以前の農村世界では外界の明暗リズムに従った「自然」な生活が営まれていた〉という種類の表現ほど、かれらの実像から遠いものはない。むしろ近世の農業従事者たちこそは、夜遅くまで生産活動に従事する現代的で「不自然」な暮らしの始祖だった。農村世界で夜業が後退し、日没後の休息が定着しはじめたのは、都市の機械制大工業が農村の手工業を駆逐する19世紀末のことにぞくしている。つまり、明暗周期に従った農民たちの「自然」な生活様式とは、産業化が生み出した全き近代の発明品なのである。

# 平成 30 年度 専任・兼務所員&客員教授・准教授 紹介

## 宇宙地球科学部門

### 《専任》

藤澤 健太(所長・教授)

青木 貴弘(助教(特命))

### 《兼務》

大和田 正明(大学院創成科学研究科(理学) 教授)

### 《客員教授》

岡田 誠(茨城大学 教授)

細川 瑞彦(情報通信研究機構 理事)

## 社会科学部門

### 《専任》

右田 裕規(副所長・准教授)

### 《兼務》

山本 晴彦(大学院創成科学研究科(農学) 教授)

濱島 清史(経済学部 教授)

### 《客員教授》

辻 正二(保健医療経営大学 特任教授)

M. I. Tribelsky(モスクワ大学 教授)

### 《客員准教授》

Brigitte Steger(ケンブリッジ大学 准教授)

Serge A. Tishchenko(モスクワ大学 准教授)

## 生命科学部門

### 《専任》

明石 真(教授)

松村 律子(助教(特命))

### 《兼務》

岩尾 康宏(大学院創成科学研究科(理学) 教授)

谷澤 幸生(大学院医学系研究科 教授)

美津島 大(大学院医学系研究科 教授)

田邊 剛(大学院医学系研究科 教授)

### 《客員教授》

井上 慎一(時間学研究所 初代所長)

武藤 正彦(山口県立総合医療センター 院長)

近藤 孝男(名古屋大学 名誉教授)

## 人文学部門

### 《専任》

小山 虎(講師(テニュアトラック))

### 《兼務》

太田 聡(人文学部 教授)

森下 徹(教育学部 教授)

ヒンターエーダー＝エムデ・フランツ(人文学部 教授)

仁平 千香子(国際総合科学部 助教)

### 《客員教授》

上野 修(大阪大学 名誉教授)

Raji C. Steineck(チューリッヒ大学 教授)

## 心理学部門

### 《専任》

寺尾 将彦(助教(テニュアトラック))

### 《兼務》

小野 史典(教育学部 准教授)

### 《客員教授》

一川 誠(千葉大学 教授)

## 数理科学部門

### 《兼務》

廣澤 史彦(大学院創成科学研究科(理学) 教授)

野崎 隆之(大学院創成科学研究科(理学) 講師)

### 《客員教授》

蔵本 由紀(京都大学 名誉教授)

Jérôme Bolte(トゥールーズ第一大学 教授)

(兼)M. I. Tribelsky(モスクワ大学 教授)

### 《客員准教授》

(兼) Serge A. Tishchenko

(モスクワ大学 准教授)

## 工学部門

### 《兼務》

長 篤志(大学院創成科学研究科(工学) 准教授)

### 《客員教授》

織田 一郎(時の研究家)

小山 虎 Tora KOYAMA (講師(テニュアトラック))



PROFILE 1973 年生まれ

大阪大学大学院人間科学研究科博士課程修了 博士(人間科学)  
日本学術振興会特別研究員 PD(慶應義塾大学文学部)  
米国ニュージャージー州立ラトガース大学哲学科客員研究員  
大阪大学大学院基礎工学研究科特任助教

RESEARCH 専門は哲学です。主な研究テーマは、四次元主義や現在主義などの  
時間の存在論、メタ形而上学、分析哲学史。哲学で一般的な研究  
手法にこだわらず、様々な分野の研究者とコラボしています。特に、ロ  
ボットに関する哲学研究をロボット工学者と共同で長年しています。

## 今後の予定

### 時間学特別講演会 2018

#### 『チバニアンから学ぶ、時間学としての地質学』

日時:平成 30 年 10 月 20 日(土)

14 時 00 分~16 時 00 分(開場:13 時 30 分)

場所:山口大学吉田キャンパス大学会館大ホール(山口市吉田 1677-1)

講師:岡田 誠(茨城大学 教授/時間学研究所 客員教授)

時間は地層という形で地面の中にも記録されています。「チバニアン」の名称で話題になった、千葉県市  
原市で発見された約 77 万年~12 万 6 千年前の地層について研究代表者の岡田誠先生に、  
時間学の目線から分かりやすくお話しいただきます。

### 時間学公開講座 in 福岡『時間学への招待』

日時:平成 30 年 12 月 1 日・8 日・15 日(土)10 時 00 分~11 時 30 分

場所:アクロス福岡(福岡県福岡市中央区天神 1-1-1)

3 名の研究者が「時間」をキーワードにそれぞれの分野で講座を行います。(昨年と同内容で開催します)

#### 《講座スケジュール》

12 月 1 日(土) 『社会の時間』 右田 裕規(時間学研究所・准教授)

12 月 8 日(土) 『こころの時間』 寺尾 将彦(時間学研究所・助教)

12 月 15 日(土) 『宇宙の時間』 藤澤 健太(時間学研究所・教授)

定員:65 名

事前申込み:必要 ①氏名(代表者名)②住所 ③連絡先 ④参加人数 を明記の上、  
はがき・FAX・メールにてお申込み下さい。

定員になり次第締切ります。申込み受付後、はがきでご連絡します。

参加費:無料

お問合せ  
お申込み先

山口大学時間学研究所

Address: 山口県山口市吉田 1677-1

TEL&FAX:083-933-5848

E-Mail: sh076@yamaguchi-u.ac.jp